



山の「さん」  
息子の「son」  
太陽の「sun」  
農産物の「さん」  
国見三宿の「さん」  
国見母さんの「さん」

Kunimi  
Atsukashi-san

国見町の新酒が完成しました。



国見町には、風土や文化を基にした民話が数多くあります。多くの人に知ってもらいたいと国見民話の会は、地区に残る民話を編集・記録しました。会の内池和子さんは、国見の民話を別の形でも残せなにかと思ひ、家族と一緒に、かるたを作成しました。『赤牛の嫁はつかのめおしさん』、『幾百年子どもを守る小坂の地藏様』。民話を題材とした絵札と読み札は一枚一枚手書きで丁寧に仕上げられ、子どもから大人まで楽しく親しみを持って郷土の歴史に触れることができます。長く語り継がれてきた民話は、未来へ残し伝えていきたい町のたからものです。

【問い合わせ先：歴史まちづくり推進室 電話 585・2967】

国見の民話



『国見のたからもの』No.20

国見まちづくり会社（太田久雄代表取締役）は、新酒「国見あつかしさん」を開発し、新酒の発表・宴の会が12月15日、観月台文化センターで行われました。

「国見あつかしさん」は国見町産の献穀米「天のつぶ」を100%使用し、人気酒造（二本松市）が仕込んだ日本酒です。火入れタイプと火入れしない生の純米吟醸酒の2種類が完成しました。

「国見あつかしさん」発表・宴の会では、太田代表取締役から「震災復興への思いを込めて、天のつぶ100%で作ることにこだわり、上品な味に仕上がりました」とあいさつ。仕込みを行った人気酒造株式会社の遊佐勇人代表取締役と、平成26年に献穀米に選ばれた「天のつぶ」生産の第一人者である朽木農園の朽木勝之代表からもあいさつがありました。その後、鏡開きが行われ、出席者で新酒完成を祝いました。出席者からは、「香りが良くおいしい」「飲み口が良い」といった声が聞かれました。

新酒販売に関するお問い合わせは国見まちづくり会社（☎585・2132）まで。

～今月の表紙～



毎年恒例となったあつかし山ビッグツリー。今年は天候にも恵まれ、点灯式では空に大輪の花火が咲きました。

目次

- 2 年頭のごあいさつ
- 4 目次
- 5 国見あつかしさん完成
- 6 観月台文化センターホール再動
- 8 あつかし山ビッグツリー点灯式
- 9 域学連携事業
- 10 町からのお知らせ
- 12 復興のあしおと
- 13 まちのサークル（ラフランス）
- 14 小さな天才たち（くにみ幼稚園）
- 14 笑顔のひろば
- 14 まちのわだい
- 14 保健だより
- 14 暮らしの情報
- 14 生涯学習つうしん
- 24 カレンダー